



平成28年12月期
第1四半期
〈1～3月〉

連結決算補足資料

平成28年4月25日

コクヨ株式会社

(コード番号 7984)

経営管理本部 財務経理部

お問い合わせ先 : 統括部長 永井 琢也

TEL : 06-6976-1221(大代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 親会社株主に帰属する四半期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 事業セグメントの損益状況	
4-1 ステーションナリー関連事業	…… P. 9
4-2 ファニチャー関連事業	…… P.10
4-3 通販・小売関連事業	…… P.11
5. 28年12月期の見通し	…… P.12
6. 主なトピックス	…… P.13

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 損益計算書の状況

◆1-1 連結情報

売上高は、各事業セグメントとも伸長し、前年同期比6.7%増の910億円となりました。『シェアと粗利率』にこだわる施策の推進により、売上総利益は326億円、売上総利益率は0.8ポイント向上の35.8%となり、順調に改善が進みました。また、販管費は、効率的な使用により前年並みの234億円となり、売上高販管費率は25.7%と1.7ポイント低下しました。以上により、営業利益は前年同期比42.3%増の92億円と大幅増益となり、経常利益は前年同期比35.0%増の90億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比57.5%増の64億円となりました。

(単位: 百万円)

	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	85,368	91,046	+5,678	+6.7%
売上総利益 (率)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	+2,751 (+0.8p)	+9.2%
販売費及び一般管理費 (率)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	+14 (△1.7p)	+0.1%
営業利益 (率)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	+2,737 (+2.5p)	+42.3%
経常利益 (率)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	+2,356 (+2.1p)	+35.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (率)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	+2,358 (+2.3p)	+57.5%

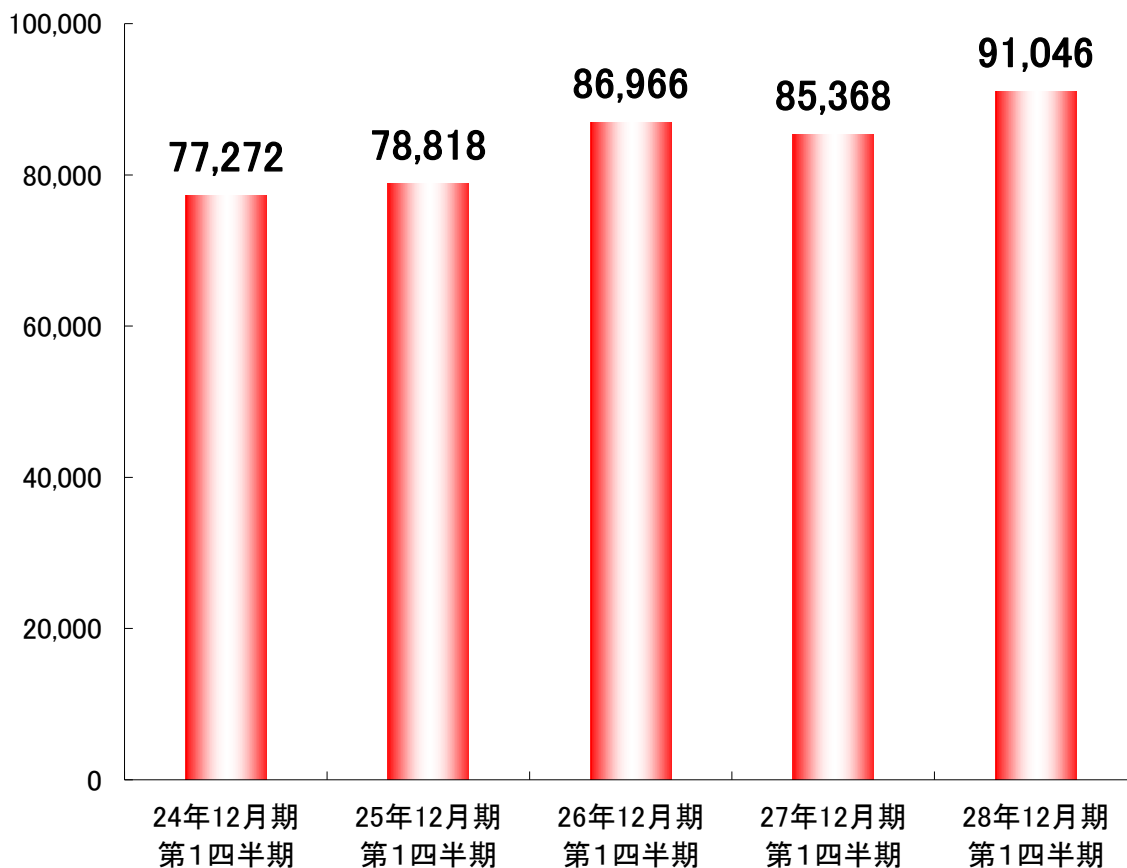
(注) 連結子会社20社・持分法適用関連会社1社

1. 損益計算書の状況

◆1-2 売上高

売上高は、各事業セグメントとも伸長し、前年同期比6.7%増の910億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	77,272	78,818	86,966	85,368	91,046	+5,678	+6.7%
売上総利益 (率)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	+2,751 (+0.8p)	+9.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	+14 (△1.7p)	+0.1%
営業利益 (率)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	+2,737 (+2.5p)	+42.3%
経常利益 (率)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	+2,356 (+2.1p)	+35.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	+2,358 (+2.3p)	+57.5%

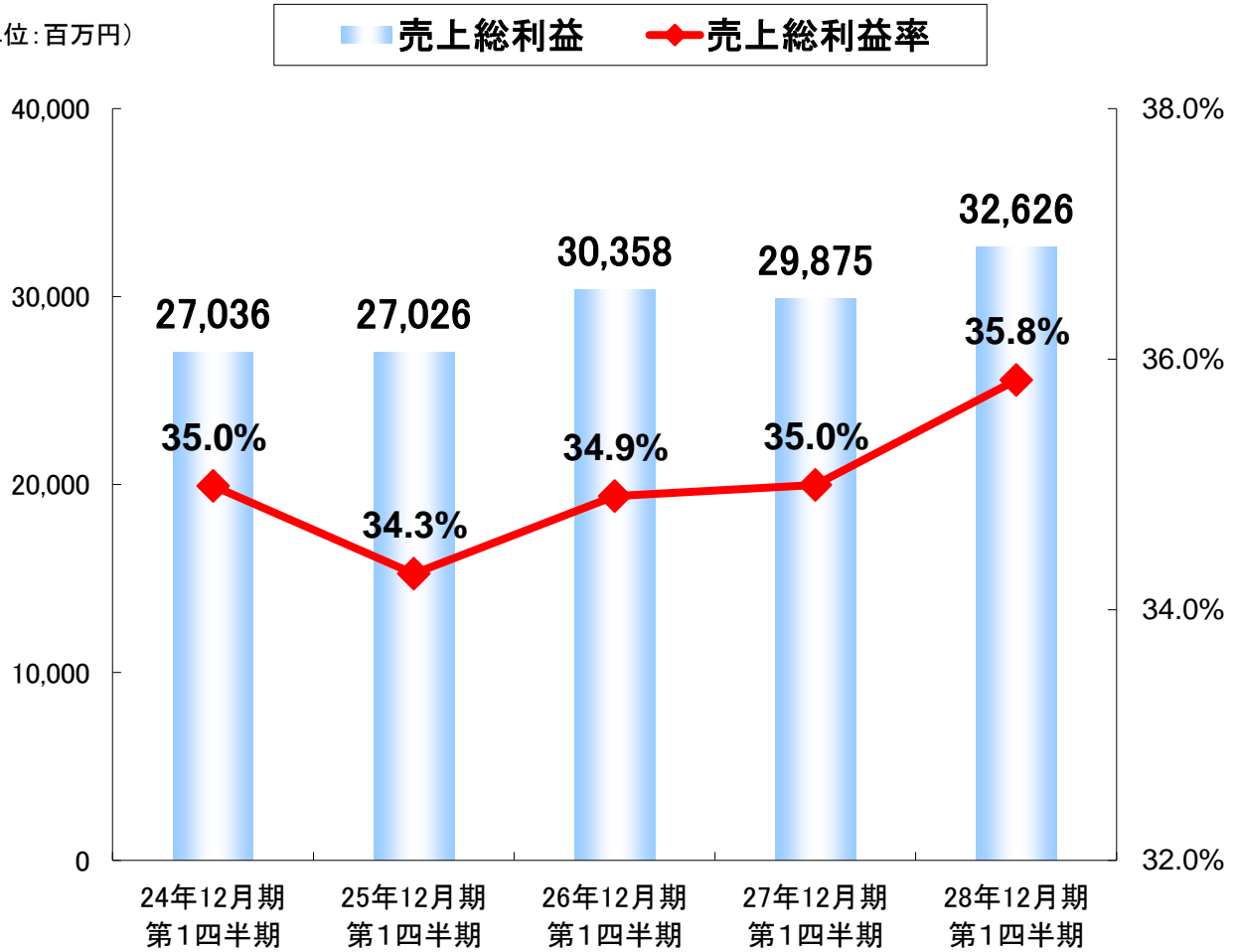
1. 損益計算書の状況

◆1-3 売上総利益

売上総利益は、増収や売上総利益率の改善により、前年同期比9.2%増の326億円となりました。

売上総利益率は、ファニチャー関連事業の販売部門の売上総利益率の改善、価格改定、コストダウンの推進等により、0.8ポイント向上し35.8%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

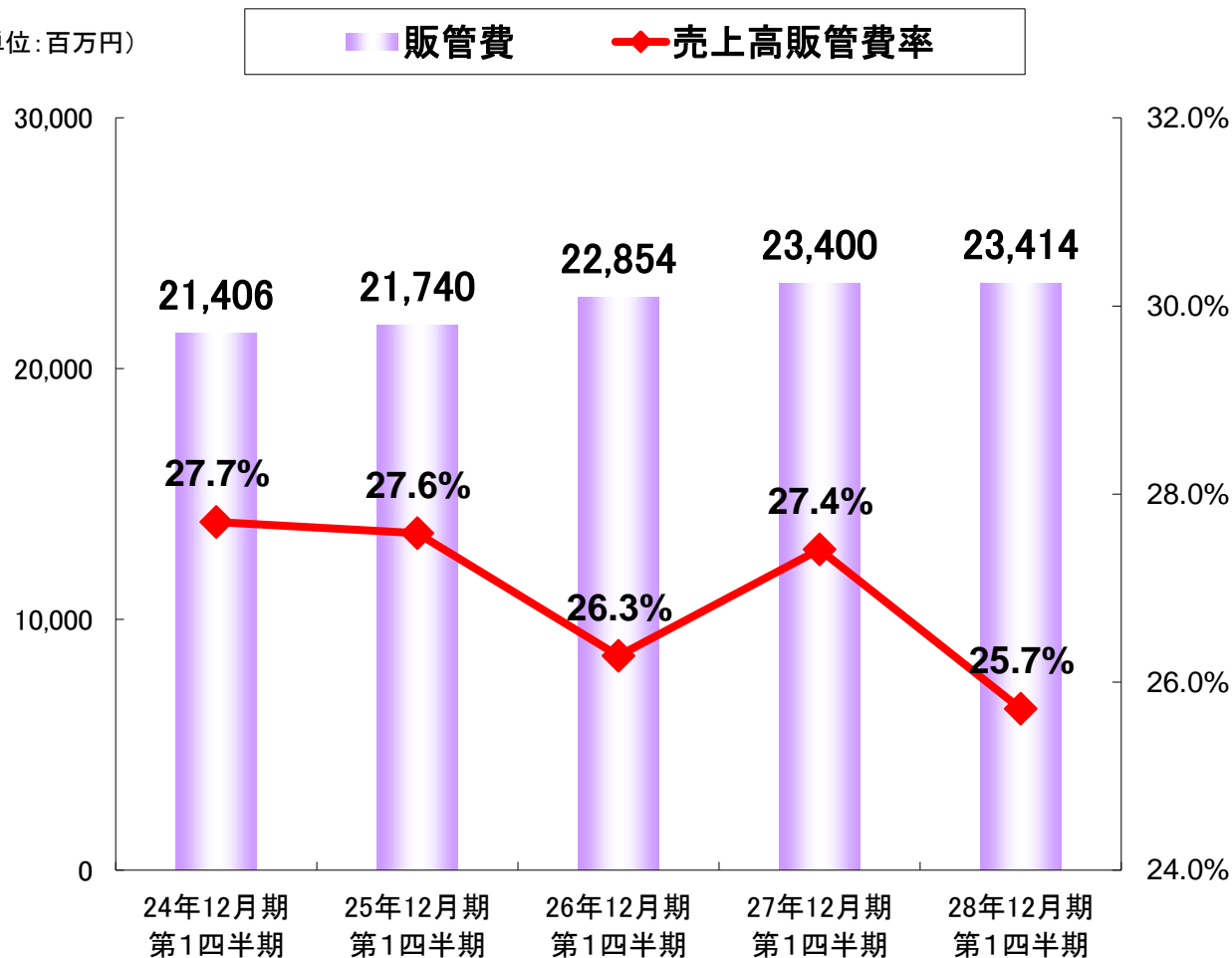
	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	77,272	78,818	86,966	85,368	91,046	+5,678	+6.7%
売上総利益 (率)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	+2,751 (+0.8p)	+9.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	+14 (△1.7p)	+0.1%
営業利益 (率)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	+2,737 (+2.5p)	+42.3%
経常利益 (率)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	+2,356 (+2.1p)	+35.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	+2,358 (+2.3p)	+57.5%

1. 損益計算書の状況

◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、効率的な使用により前年並みの234億円となり、売上高販管費率は25.7%と1.7ポイント低下しました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	77,272	78,818	86,966	85,368	91,046	+5,678	+6.7%
売上総利益 (率)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	+2,751 (+0.8p)	+9.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	+14 (△1.7p)	+0.1%
営業利益 (率)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	+2,737 (+2.5p)	+42.3%
経常利益 (率)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	+2,356 (+2.1p)	+35.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	+2,358 (+2.3p)	+57.5%

1. 損益計算書の状況

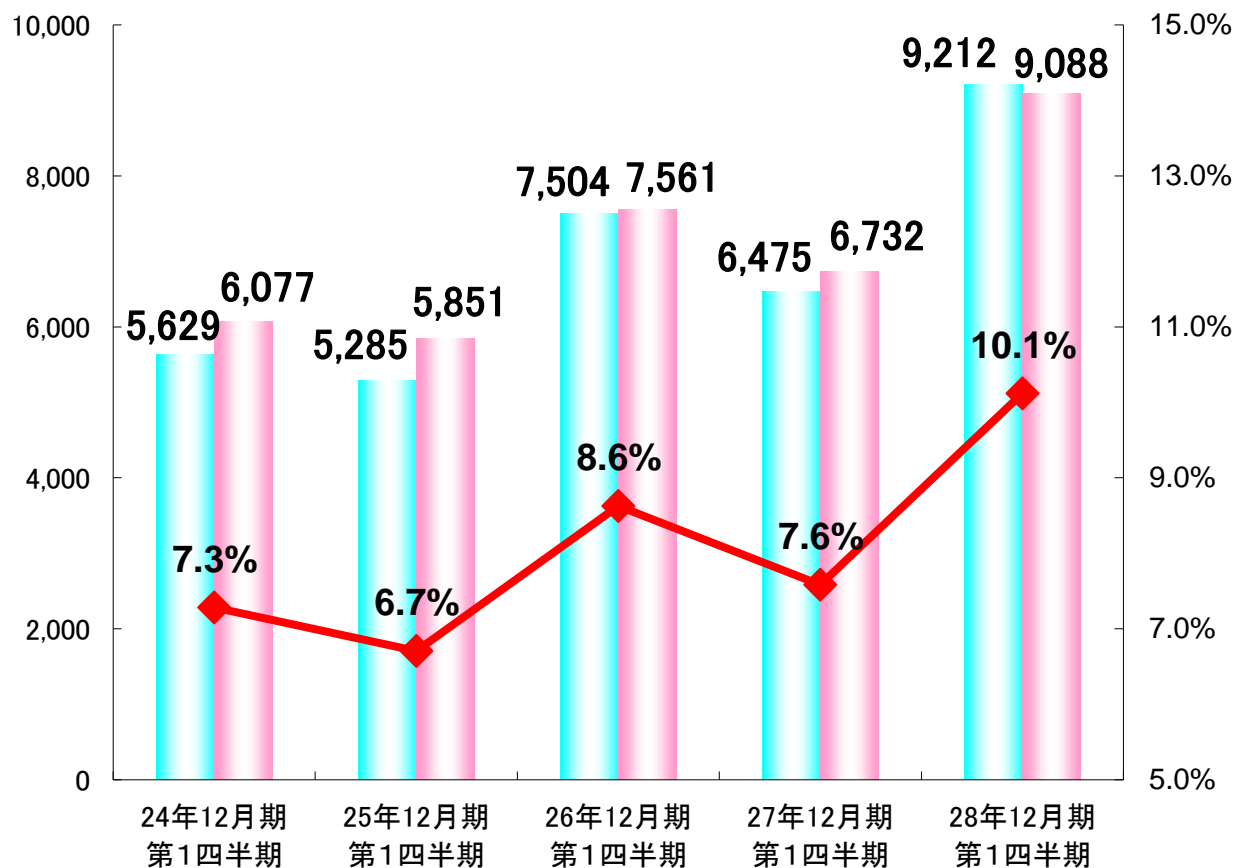
◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加、売上総利益率の改善、販管費の効率的な使用等により、前年同期比42.3%増の92億円と大幅増益となりました。

経常利益は、前年同期比35.0%増の90億円となりました。

(単位:百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益 ◆ 売上高営業利益率



(単位:百万円)

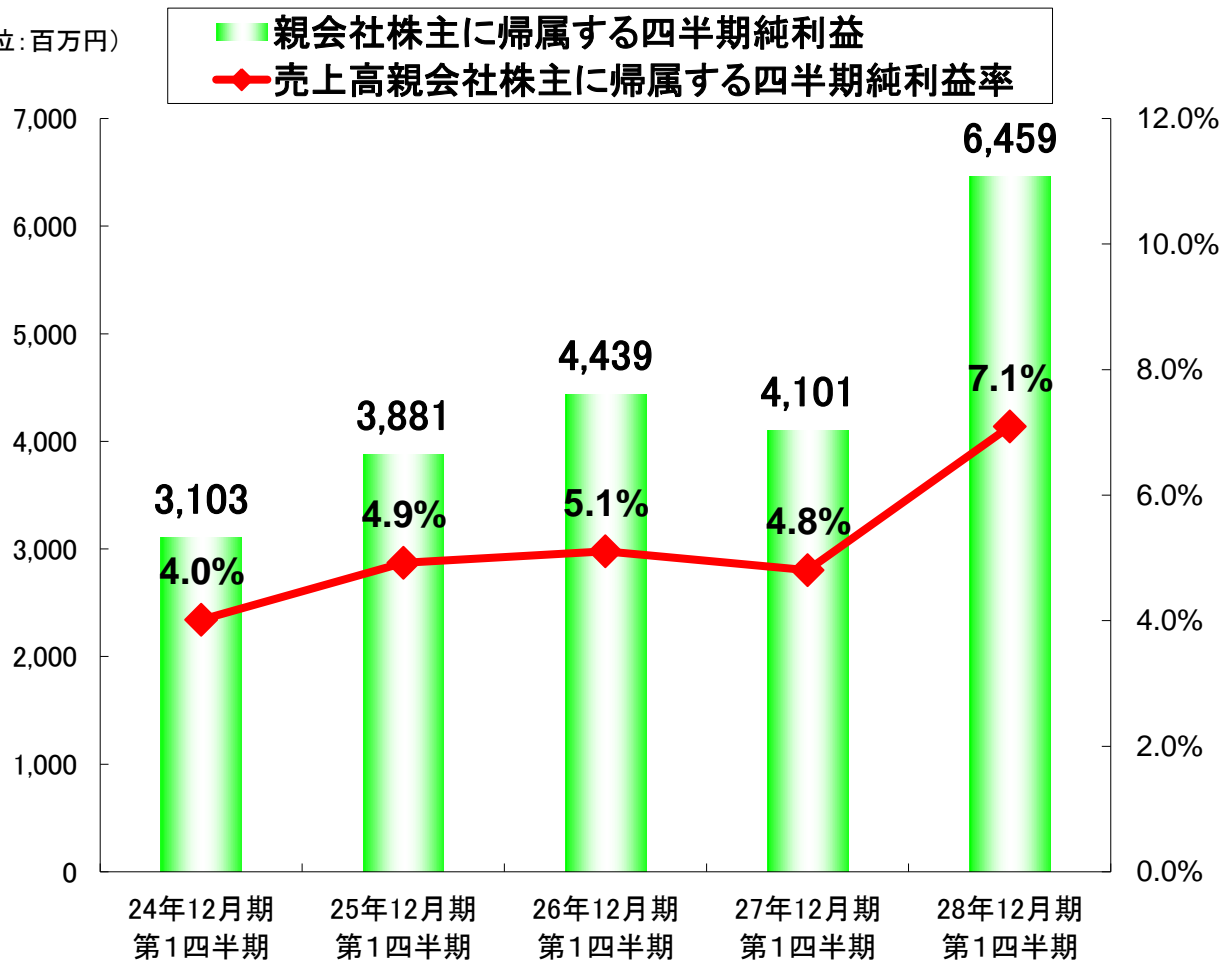
	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	77,272	78,818	86,966	85,368	91,046	+5,678	+6.7%
売上総利益 (率)	27,036 (35.0%)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	+2,751 (+0.8p)	+9.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,406 (27.7%)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	+14 (△1.7p)	+0.1%
営業利益 (率)	5,629 (7.3%)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	+2,737 (+2.5p)	+42.3%
経常利益 (率)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	+2,356 (+2.1p)	+35.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	+2,358 (+2.3p)	+57.5%

1. 損益計算書の状況

◆1-6 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比57.5%増の64億円となりました。

(単位:百万円)



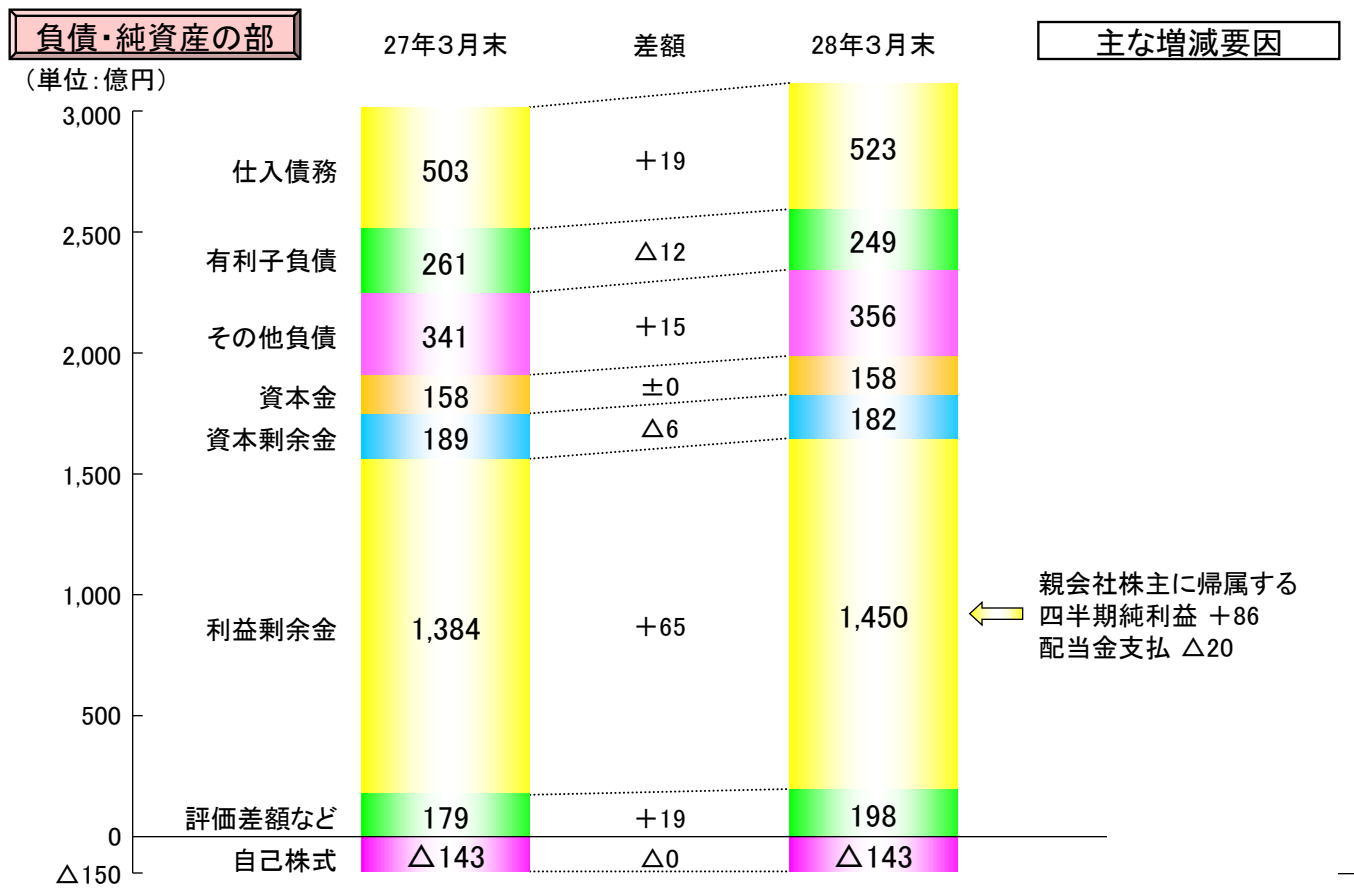
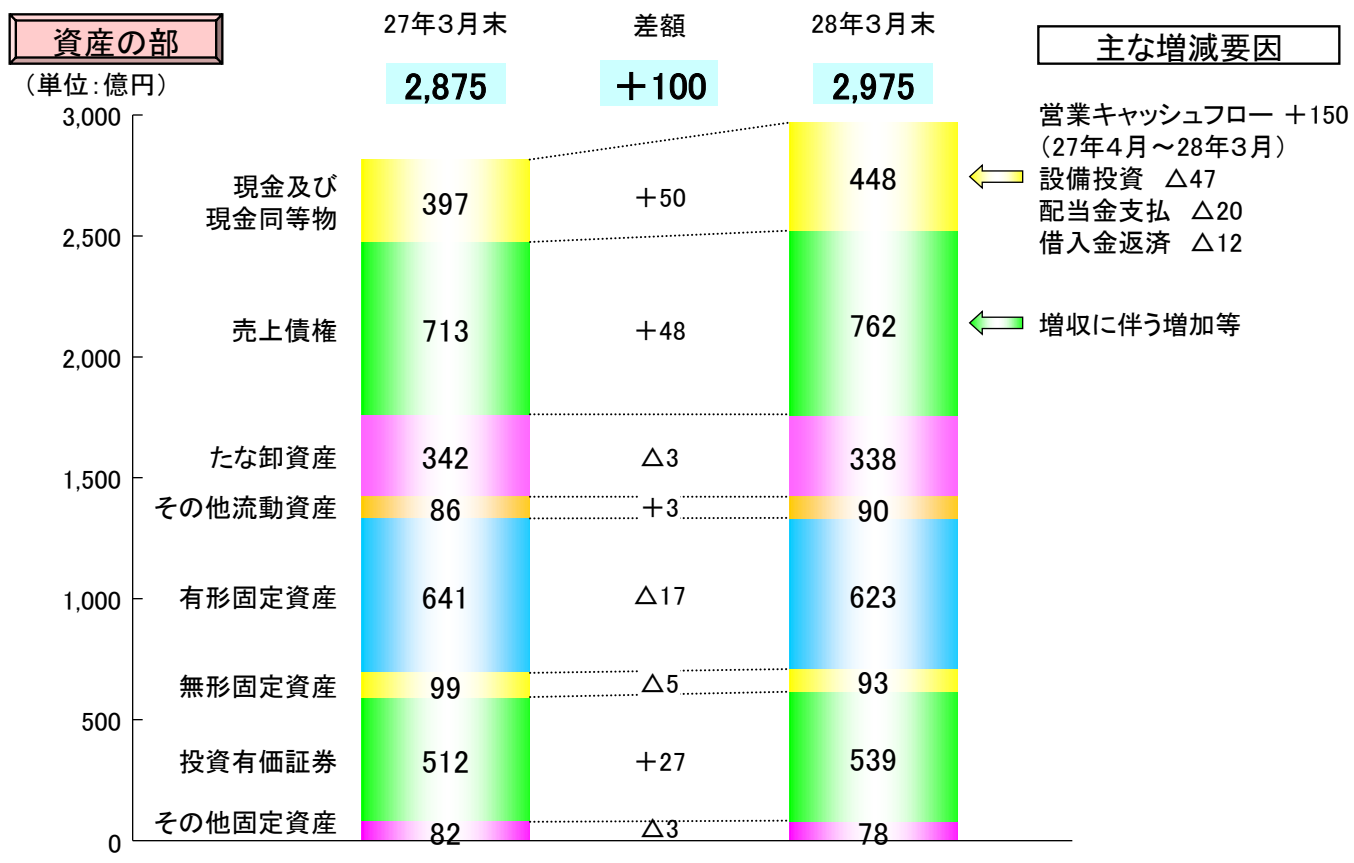
(単位:百万円)

	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	6,077 (7.9%)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	+2,356 (+2.1p)	+35.0%
特別損益	△628	+261	+56	+26	△45	△71	—
特別利益	—	+261	+56	+1,266	—	△1,266	—
特別損失	△628	—	—	△1,240	△45	+1,195	—
税金等調整前四半期純利益 (率)	5,448 (7.1%)	6,112 (7.8%)	7,617 (8.8%)	6,758 (7.9%)	9,042 (9.9%)	+2,284 (+2.0p)	+33.8%
法人税等	2,345	2,231	3,178	2,656	2,583	△73	△2.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,103 (4.0%)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	+2,358 (+2.3p)	+57.5%

2. 貸借対照表の状況

総資産は、前年同期末より100億円増加し、2,975億円となりました。

※比較のため前期の数値は27年12月期第1四半期(27年3月末)を使用しており、決算短信記載の数値と異なります。
 ※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



3. キャッシュフロー・設備投資の状況

<キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは△13億円、投資キャッシュフローは1億円となり、フリーキャッシュフロー(※)は△12億円となりました。
また、財務キャッシュフローは△8億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から21億円減少し、448億円となりました。

(※) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

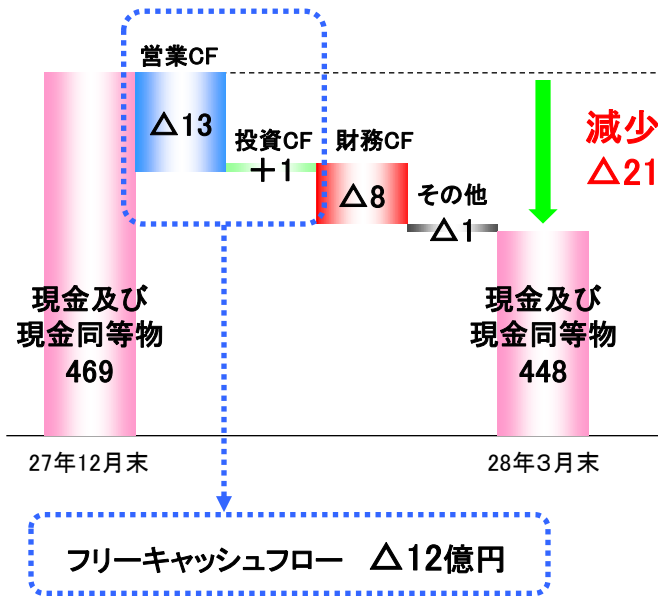
<設備投資>

設備投資は、8億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

□ 現金及び現金同等物の増減内訳 28年12月期 <1~3月>

(単位:億円)



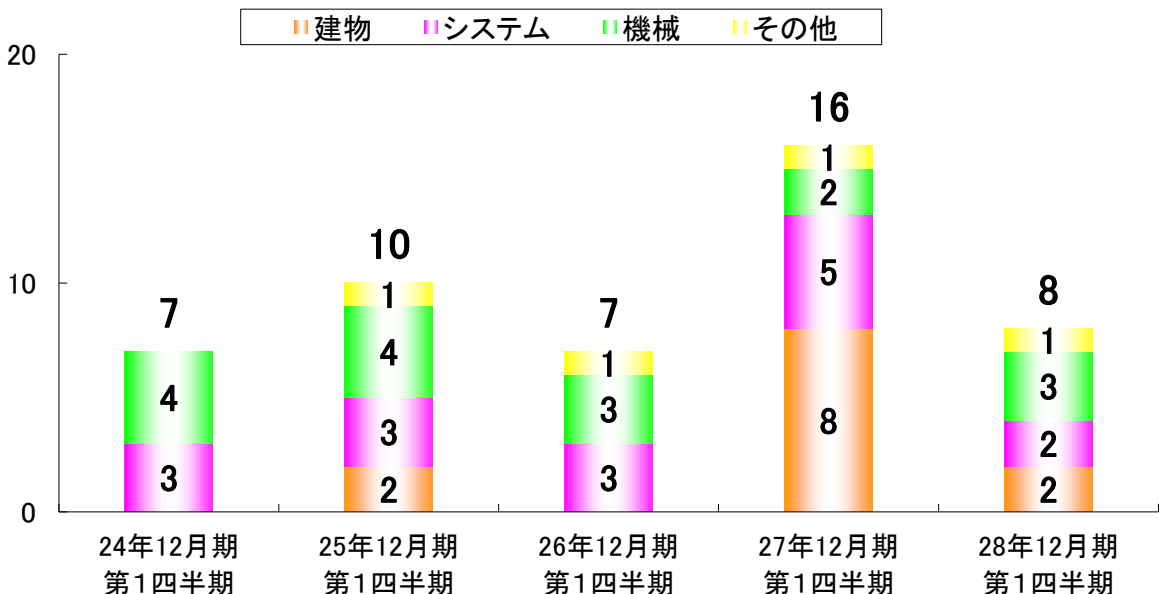
□ キャッシュ・フロー計算書 28年12月期 <1~3月>

(単位:億円)

◆営業キャッシュフロー	△13
税金等調整前四半期純利益	+90
減価償却費	+16
賞与引当金の増減	+15
たな卸資産の増減	△21
債権債務の増減	△104
法人税等の支払	△6
その他	△3
◆投資キャッシュフロー	+1
投資有価証券の取得、売却	+6
設備投資	△8
その他	+3
◆財務キャッシュフロー	△8
借入金の増減	+6
配当金の支払	△11
リース債務の返済	△3

□ 設備投資の推移

(単位:億円)



4. 事業セグメントの損益状況

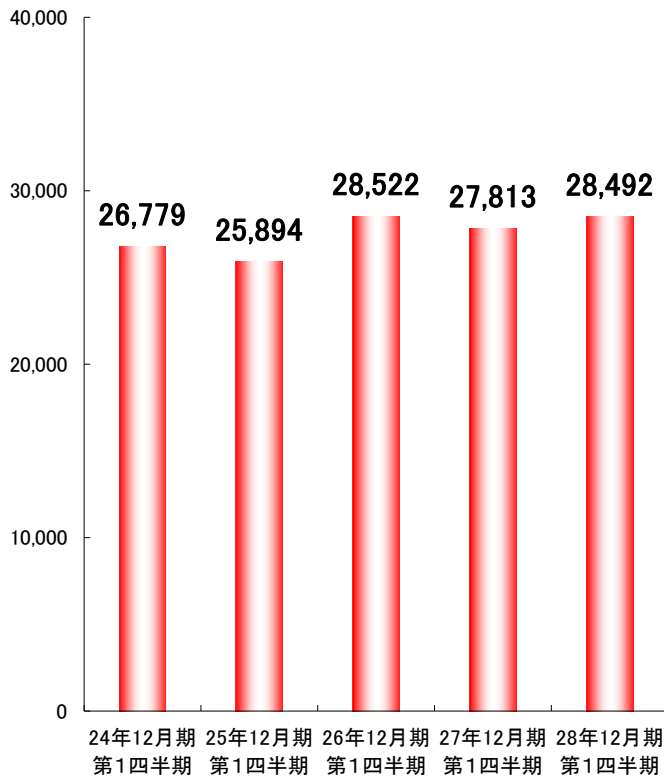
◆4-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、前年7月に実施した価格改定の寄与等により、前年同期比2.4%増の284億円となりました。

営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加並びに販管費の効率的な使用等により、前年同期比22.8%増の29億円となりました。

売上高

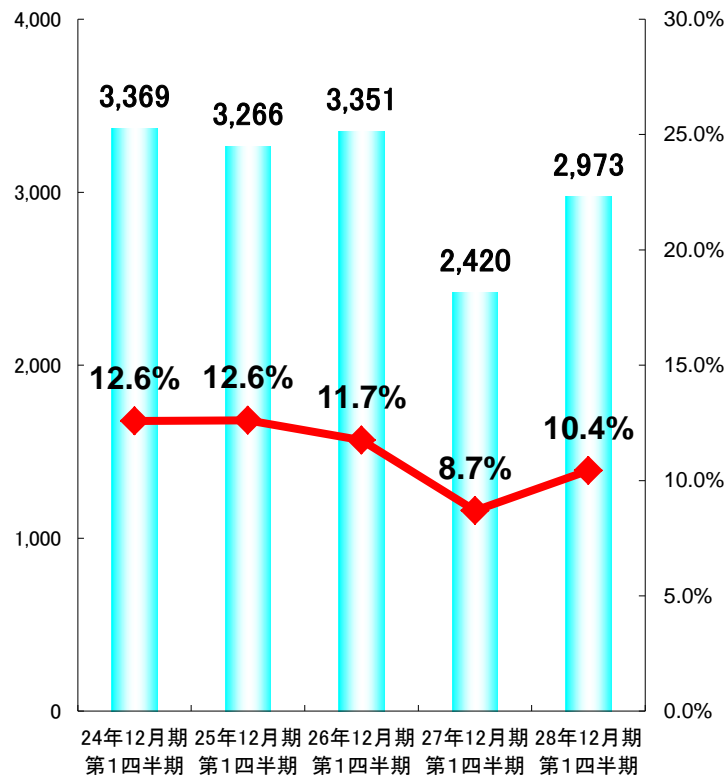
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	26,779	25,894	28,522	27,813	28,492	+679	+2.4%
営業利益 (率)	3,369 (12.6%)	3,266 (12.6%)	3,351 (11.7%)	2,420 (8.7%)	2,973 (10.4%)	+553 (+1.7p)	+22.8%

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

※当社は、平成27年10月1日付の連結子会社2社との合併に伴い、純粋持株会社から事業会社に移行したため、当第1四半期連結会計期間より、連結子会社に対するグループ経営運営料の徴収を廃止しました。これにより、当第1四半期連結累計期間のステーションナリー関連事業の営業利益は、前第1四半期連結累計期間に比べて、200百万円増加しております。

4. 事業セグメントの損益状況

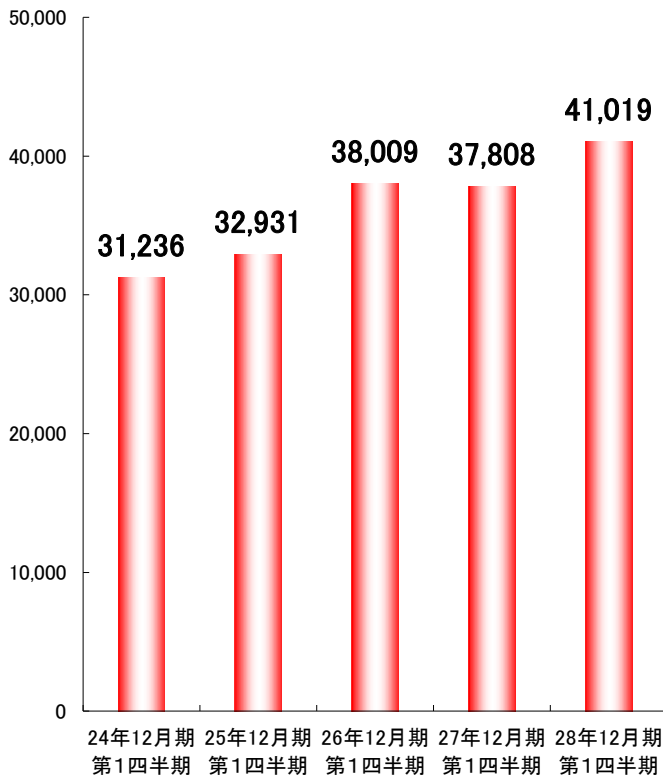
◆4-2 ファニチャー関連事業

売上高は、国内事業の牽引により、前年同期比8.5%増の410億円となりました。

営業利益は、国内事業の増収に伴う売上総利益の増加並びに工場の生産性改革や高付加価値のオフィス空間構築提案が受け入れられたことによる売上総利益率の改善等により、前年同期比49.2%増の62億円となりました。

売上高

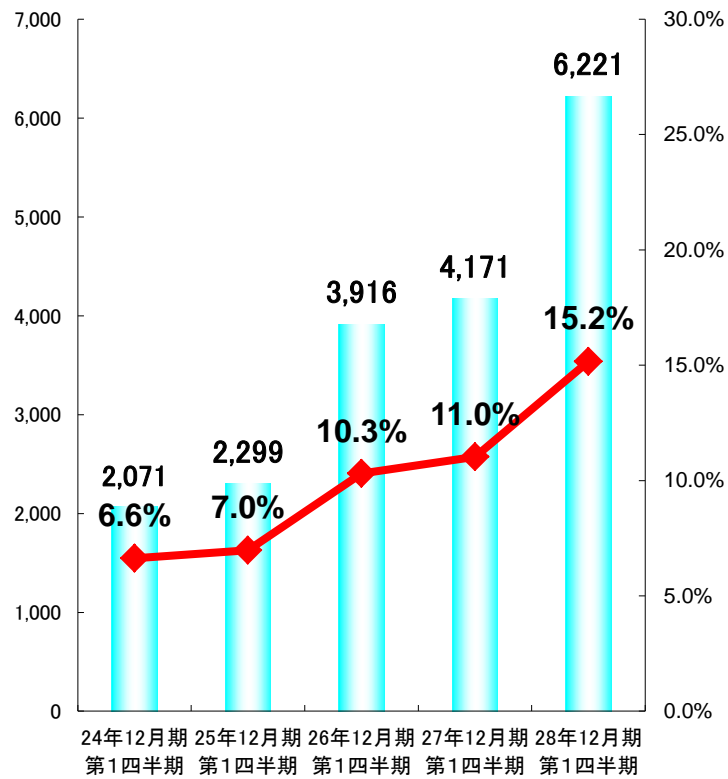
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	31,236	32,931	38,009	37,808	41,019	+3,211	+8.5%
営業利益 (率)	2,071 (6.6%)	2,299 (7.0%)	3,916 (10.3%)	4,171 (11.0%)	6,221 (15.2%)	+2,050 (+4.1p)	+49.2%

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

※当社は、平成27年10月1日付の連結子会社2社との合併に伴い、純粋持株会社から事業会社に移行したため、当第1四半期連結会計期間より、連結子会社に対するグループ経営運営料の徴収を廃止しました。これにより、当第1四半期連結累計期間のファニチャー関連事業の営業利益は、前第1四半期連結累計期間に比べて、321百万円増加しております。

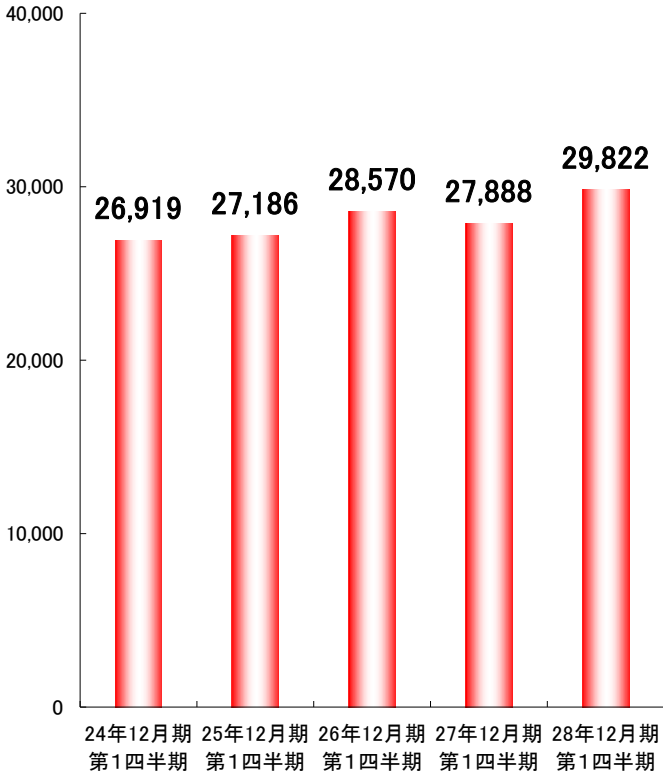
4. 事業セグメントの損益状況

◆4-3 通販・小売関連事業

売上高は、カウネット及び前年に6店舗を出店したアクタスが増収となり、前年同期比6.9%増の298億円となりました。
 営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加並びにカウネットにおいて売上総利益率の高い商品の売上が伸長したこと等により、前年同期比180.9%増の10億円となりました。

売上高

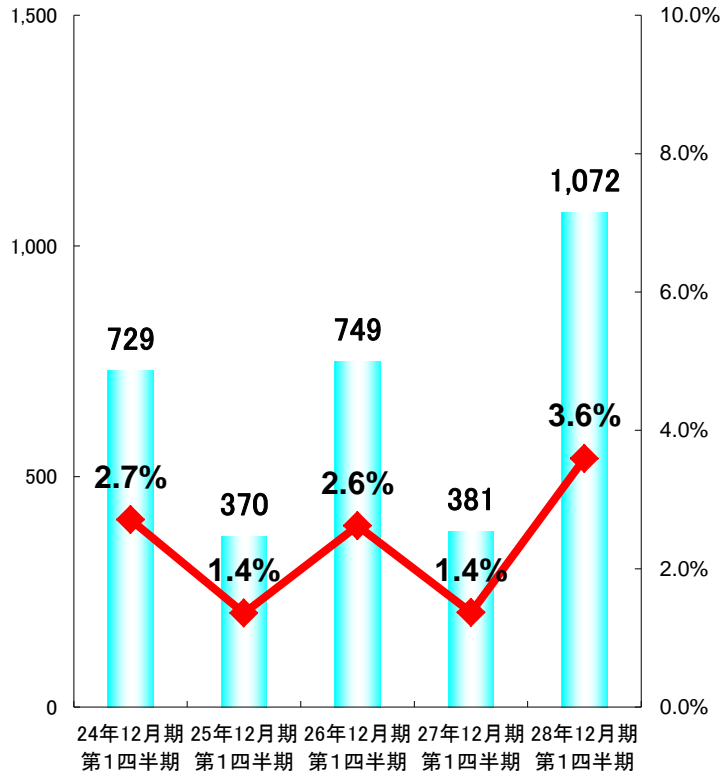
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	24年12月期 第1四半期	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	26,919	27,186	28,570	27,888	29,822	+1,934	+6.9%
営業利益 (率)	729 (2.7%)	370 (1.4%)	749 (2.6%)	381 (1.4%)	1,072 (3.6%)	+691 (+2.2p)	+180.9%

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。
 ※当社は、平成27年10月1日付の連結子会社2社との合併に伴い、純粋持株会社から事業会社に移行したため、当第1四半期連結会計期間より、連結子会社に対するグループ経営運営料の徴収を廃止しました。これにより、当第1四半期連結累計期間の通販・小売関連事業の営業利益は、前第1四半期連結累計期間に比べて、179百万円増加しております。

5. 28年12月期の見通し

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上、利益ともに順調に推移しました。第2四半期以降の市場動向及び事業環境は不透明な状況ですが、引き続き『シェアと粗利率』にこだわる施策のさらなる推進に努めることから、平成28年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しました。

第2四半期累計

(単位:百万円)

	27年12月期 第2四半期累計実績 (6ヶ月)	28年12月期 第2四半期累計予想 (6ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率	(ご参考) 当初予想
売上高	161,249	166,000	+4,751		+2.9%	164,400
ステーションリー	52,947	54,000	+1,053		+2.0%	54,200
ファニチャー	69,019	70,500	+1,481		+2.1%	69,400
通販・小売	54,594	57,400	+2,806		+5.1%	56,600
調整額	△ 15,311	△ 15,900	△ 589		-	△ 15,800
営業利益(率)	8,882 (5.5%)	11,000 (6.6%)	+2,118	+1.1p	+23.8%	9,400
ステーションリー(率)	3,506 (6.6%)	4,200 (7.8%)	+694	+1.2p	+19.8%	4,050
ファニチャー(率)	5,264 (7.6%)	7,400 (10.5%)	+2,136	+2.9p	+40.6%	6,350
通販・小売(率)	1,390 (2.5%)	2,100 (3.7%)	+710	+1.1p	+51.1%	1,600
調整額	△ 1,278	△ 2,700	△ 1,422		-	△ 2,600
経常利益(率)	9,814 (6.1%)	11,200 (6.7%)	+1,386	+0.7p	+14.1%	9,900
親会社株主に帰属する 四半期純利益(率)	6,037 (3.7%)	7,400 (4.5%)	+1,363	+0.7p	+22.6%	6,400

通期

(単位:百万円)

	27年12月期 通期実績 (12ヶ月)	28年12月期 通期予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率	(ご参考) 当初予想
売上高	304,276	311,600	+7,324		+2.4%	310,000
ステーションリー	97,553	99,500	+1,947		+2.0%	99,700
ファニチャー	126,354	128,900	+2,546		+2.0%	127,800
通販・小売	109,639	113,500	+3,861		+3.5%	112,700
調整額	△ 29,269	△ 30,300	△ 1,031		-	△ 30,200
営業利益(率)	11,102 (3.6%)	13,600 (4.4%)	+2,498	+0.7p	+22.5%	12,000
ステーションリー(率)	4,676 (4.8%)	5,750 (5.8%)	+1,074	+1.0p	+22.9%	5,600
ファニチャー(率)	6,375 (5.0%)	9,950 (7.7%)	+3,575	+2.7p	+56.1%	8,900
通販・小売(率)	2,408 (2.2%)	3,000 (2.6%)	+592	+0.4p	+24.6%	2,500
調整額	△ 2,358	△ 5,100	△ 2,742		-	△ 5,000
経常利益(率)	11,880 (3.9%)	14,100 (4.5%)	+2,220	+0.6p	+18.7%	12,800
親会社株主に帰属する 当期純利益(率)	6,312 (2.1%)	9,300 (3.0%)	+2,988	+0.9p	+47.3%	8,300

※当社は、平成27年10月1日付の連結子会社2社との合併に伴い、純粋持株会社から事業会社に移行したため、平成28年12月期より、連結子会社に対するグループ経営運営料の徴収を廃止しました。これにより、各事業セグメントの営業利益は、前期に比べて、ステーションリー関連事業で6億円(第2四半期累計では3億円)、ファニチャー関連事業で10億円(第2四半期累計では5億円)、通販・小売関連事業で6億円(第2四半期累計では3億円)それぞれの増加を、調整額で23億円(第2四半期累計では12億円)の減少を見込んでいます。

※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

～スリムなペンケースがペンスタンドに変身～ ペンケース「ネオクリッツ」にフラットタイプを新発売

当社は、学生を中心に幅広い層から支持を得ているペンケース「NEO CRITZ(ネオクリッツ)」シリーズから、大学生～ビジネスパーソン向けに、フラットでありながら開くとペンスタンドになる持ち運びに便利な「ネオクリッツフラット」を発売しました。

「ネオクリッツフラット」は、従来のネオクリッツの特長である「ペンスタンドをそのままペンケースとして持ち運べる」、「中身が一目でみやすい、取り出しやすい」という機能をそのままに、従来品よりも厚みを約40%スリムにしてフラット感を重視した仕様です。スリムなのでかさばらず、バッグにもすっきり入れることができます。収容量は従来品と変わらず、消しゴムや付箋などの小物類も収容できる3つのポケット付きで便利です。

ネオクリッツシリーズは、ペンケースはもちろんのこと、化粧ポーチやモバイル用品ケースなど使い方に広がりを見せ、シリーズ累計出荷数290万個を突破しています。(平成27年10月現在)



「ネオクリッツフラット」の使用例



～“働きやすさ・親しみやすさ”が伝わる～ 「ビジネス・プロセス・アウトソーシング」サービスのWebサイトをリニューアル

当社は、民間大手企業の総務部門向けに展開している、オフィス運営で必要な総務全般の業務支援を行う「ビジネス・プロセス・アウトソーシング(以下、BPO)」サービスのWebサイト(<http://kokuyo.jp/bpo/>)をリニューアルしました。

多くの企業が、働きやすさや従業員満足度の向上を経営課題として掲げ、様々な取り組みを実施しています。その中で、当社のBPOは「一歩先ゆく 気づき・くふう」というブランドメッセージを掲げ、お客様とともにオフィスを快適で豊かな場所にするために、日々の運営業務に取り組んでいます。

今回リニューアルしたWebサイトは、サービスメニューの「探しやすさ」や、サービス内容の「分かりやすさ」を追求するだけでなく、実際のコンシェルジュをモデルに起用し、生の声を紹介するコーナーを作るなど、「働きやすい」と感じるオフィスサービスや「親しみやすい」と感じるコンシェルジュを伝わりやすく表現しています。



Webサイトトップ

～独自視点のオリジナル商品でお困りごとと解決を提案～ オリジナル商品だけを掲載した「お困りごとと解決BOOK」を新発刊

株式会社カウネットは、2016年春夏号カタログ発刊と同時に、お客様のお困りごとの解決に徹底的にこだわったオリジナル商品「カウコレ」プレミアムだけを掲載した「お困りごとと解決BOOK」を発刊しました。

「お困りごとと解決BOOK」は、昨年8月に発刊した『「カウコレ」プレミアムマガジン』から誌面の見せ方や商品説明手法を大幅に刷新するとともに、掲載商品数やページ数を大幅に増加させた冊子となっています。

誌面は、商品の価値が伝わりやすいようにさまざまな工夫を施しています。商品を使用する前と使用した後でお客様がどんなお困りごとを解決できたかをBefore/Afterとして写真やイラストによってわかりやすく説明しているほか、商品開発秘話やお客様が実際に商品を使用しているシーンなども特集ページとして盛り込み、お客様が見て楽しみながら商品の価値を知って頂けるコンテンツをご用意しています。



「お困りごとと解決BOOK」表紙

『スローハウス・銀座』をオープン

株式会社アクタスは、3月31日に銀座・数寄屋橋に新たに誕生した商業施設、東急プラザ銀座の5Fにライフスタイルストア「スローハウス・銀座」をオープンしました。

天王洲ボンズストリート、二子玉川マロニエコートに続き、都内3店舗目となる「スローハウス・銀座」では、ライフスタイル誌「KINFOLK」の編集長ネイサン・ウィリアムスのディレクションによる「Ouur」の新作コレクション、東欧ワルシャワのニュームーブメント「THIS IS PAPER」が手掛けるハンドメイドのバッグなど、美しい佇まいで人々を魅了する、多数の日本初上陸の商品や、人々から永く愛されている世界の逸品を揃えています。



スローハウス・銀座